

誰もがつながりあって安心して暮らせる まち 上尾

あげお社協だより

166号

令和3年(2021)
6月1日号

年3回
(6月・10月・2月)
発行

あげお社協だより・生活支援ボランティア情報ふれふれ合併号

※「ふれふれ」には、人と人とのふれあいとボランティアを応援する(フレーフレー)という願いが込められています。



特集

コロナ禍の地域活動

「代わりとしてできること、
変わらずにできること」

寄稿

コロナ禍、つながり
その言葉の奥行き

聖学院大学児童学科

柴崎 裕氏

withコロナ

オンラインを活用した

新たなつながりづくり

- 会長就任のあいさつ
- 令和3年度事業計画・予算
- 考えよう！今、自分たちにできることを…
- 夏休みボランティア体験 2021
- 令和2年度社協会員募集の報告・共同募金運動の報告
- 善意銀行・ボランティア基金の報告
- お知らせ掲示板
- フードドライブ・遠足費・登録ホームヘルパー・社協会員募集

編集
発行人

社会福祉法人
上尾市社会福祉協議会・ボランティアセンター

〒362-0011 上尾市大字平塚724番地上尾市総合福祉センター内

TEL 048-773-7155 FAX 048-772-8647

この社協だよりは、共同募金配分金を活用し発行しています。

●ポスティングに関するお問い合わせは、(株)埼玉ロジスティックス(048-726-9240)までご連絡ください。

▶公式 Twitter はじめました
https://twitter.com/ageo_shakyo

Mail / ageo-sha@mb.jnc.ne.jp
URL / <http://www.ageo-shakyo.or.jp/>

あげお社協



ホームページ

上尾市社会福祉協議会(社協)

令和3年度事業方針

新規・重点項目

1 生活相談と支援活動の推進

〈個別相談機能の充実〉

本会は、地域住民が設置する「福祉初期相談の窓口」として、13の支部拠点があります。「要支援者」と「その方を取り巻く地域住民」、「関係機関」とをつなぐ役割として、支援活動を展開していきます。

2 社協支部活動の推進

地域の様々な福祉課題について、13の社協支部を通じて、問題を抱える方への寄り添う支援とそうした方々を排除しない支えあえる地域づくりを行います。

また、地域の互助力の向上を目指し「生活支援体制整備事業」を市より受託し、市全域の業務を担う「第1層生活支援コーディネーター」と各支部圏域に「第2層生活支援コーディネーター」を配置し、本会地域福祉活動と重ねて取り組みます。

3 市民活動・ボランティア活動の推進及び地域福祉財源の獲得

① ボランティア活動者や団体の育成、支援、福祉教育の推進、災害ボランティアセンターの設置準備、生活支援及びボランティア活動に関する広報啓発を充実し、ボランティア

会長 小山 晴久

会長就任のあいさつ



令和3年4月1日から上尾市社会福祉協議会会長に就任いたしました、小山晴久でございます。

上尾市は少子高齢化時代を迎え、様々な世代の福祉に対するニーズはますます高まっています。また、新型コロナウイルス感染症により、これまで経験したことがない状況が続く中、本会は市行政と連携して福祉向上に努めているところです。

さて、上尾市社会福祉協議会は、市と合同で「第2次上尾市地域福祉計画・第5次上尾市地域福祉活動計画」に基づき、地域の見守り・支えあい活動の仕組みづくりを進めています。具体的には、住民の方が気軽に立ち寄っていただける13の社協支部を中心とした福祉初期相談窓口を開設しています。

また「ご近所」の関係が希薄化している今、サロン活動・近隣見守り活動を実施しながら、住民の孤立をどう防ぐかを念頭に、関係機関との情報共有に努め、福祉サービスを利用しやすい地域づくりを進めてまいります。さらに「誰もがつながりあって安心して暮らせるまち上尾」の実現に向け、地域福祉を推進する中心的役割をなす民間福祉団体として、市民の皆様のお力添えをいただきながらその使命を十分に発揮できますよう役員、職員一丸となって努力を重ねてまいりたいと存じますので、これまで同様、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

みならず企業や諸地域にも出向き積極的に取り組んでいきます。

4 在宅福祉サービスの推進

高齢者・障がい者が、在宅で生活が続けられるよう介護保険によるサービスや障害福祉サービス等の質の向上と人材確保に努めます。

ファミリー・サポート・センター事業は、子育て支援が必要な方への周知と支援員（提供会員）の確保に努めていきます。

5 第5次上尾市地域福祉活動計画の推進

第2次上尾市地域福祉計画・第5次上尾市地域福祉活動計画は5年目を迎えます。次の計画に向けて策定の作業を行います。計画の策定におけるポイントとして、地域住民が福祉課題を我がことと捉え行動することや、関係者間の連携が重要となります。また、市と合同で事務局体制をとりながら、計画を推進するための基盤の強化に努めてい

きます。

6 広報・啓発活動の推進

広報紙「社協だより・ボランティア情報ふれふれ」を年3回発行し、ポスティングにより全世帯へ配布します。このことにより、自治会未加入者にも福祉情報等をきめ細やかに伝えていくと共に、募金等の募集啓発も行っています。

また、ホームページやSNS等を活用し迅速な情報の提供とコンテンツの拡充を行うとともに、若い世代が関心をもつような内容の工夫などに取り組めます。

7 自主財源の確保

世帯・個人会員及び個人賛助会員は見守り活動や各支部事業など、地域福祉を推進するうえで欠かせない重要な財源です。「地域住民相互の助け合い」を基本にして、会費が地域福祉活動に活用されていることを、地域住民へ会

8 事業展開に向けた組織基盤の強化

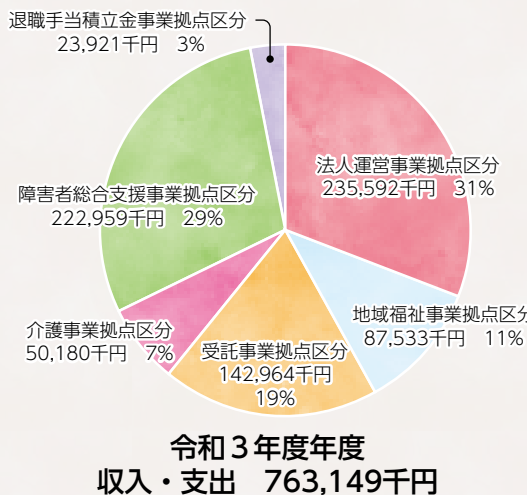
理事会・評議員会及び各種委員会の円滑な運営、総合福祉センターの管理運営を行います。また、成年後見制度の利用促進に向けた検討を行い、上尾市より成年後見センターの受託に向けて、組織基盤を強化し職員の研修や人材育成に積極的に取り組みます。

災害時対応としては、緊急時に職員の安全確保や事業が滞りなく継続できるよう、危機管理マニュアルやBCP計画に則り対応していきます。

令和3年度 上尾市社会福祉協議会予算額	
会計単位	予算額(単位:千円)
社会福祉事業区分	763,149
収益事業区分	25,095
合計	788,244

社会福祉事業区分							区分	予算概要
収益事業区分	収益事業拠点区分	拠点区分	退職手当積立金事業	障害者総合支援事業	介護事業拠点区分	法人運営事業拠点区分		
収益事業拠点区分	自動販売機設置事業やこたぎ荘売店の飲食物等の販売、かしの木園の陶器台等の作製・販売などのため予算です。	常勤職員・常勤嘱託職員の退職手当積立金	障害福祉サービス事業所かしの木園の運営を行うための事業費です。	介護保険事業に関わるケアマネジャーやホームヘルプサービスを運営するための予算です。	障害福祉サービス事業に関わるホームヘルプサービスや、身体障がい者を対象としたふれあいハウス、障害福祉サービス事業所かしの木園の運営を行うための事業費です。	会員会費の加入促進(7月強化月間)・・・世帯・個人会費、賛助会費、特別団体費、施設会費の募集などを行います。ご協力いただいた会費はみなさまの地区で行われている福祉に関する事業の一部や、本会の地域福祉に関わる事業で活用させていただきます。また、生活支援体制整備事業は、日常生活圏域の市内13社協支部の地域福祉活動に重なる取り組みを充実させるため事業費が増額しています。		市民のみなさまの生活に関わる心配ごと相談やあんしんサポートねっと、見守りが必要な方へのあつたか見守りサービスなど、市内13社協支部での小地域福祉活動の推進、ボランティア活動推進のための啓発活動などを行うための事業費です。

社会福祉事業区分(単位:千円)



第30回地域福祉を考える集い 『つながりを切らない、つながり続ける支え合う活動へ』

○講師 公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員 澤岡 詩野 氏

○事例発表団体
事例報告① 上尾市社会福祉協議会 原市団地支部
事例報告② 小泉支え合いの会

只今、絶賛配信中!! (3月1日より配信開始)
以下の検索ワードでご視聴ください



第30回地域福祉を考える集い

検索



YouTube 配信の一場面（原市団地支部による事例発表）

Withコロナ



～オンラインを活用した新たなつながりづくり～

昨年から続くコロナ禍において、上尾市社会福祉協議会では、社協支部をはじめとする地域福祉活動について、「すべての人の命と健康を守る」ことを最優先に考え、これまで築いてきた「つながり」を切らずに、つながり続ける方法を模索し、実践してきました。一方で、人との出会いや顔を合わせる機会をなくした生活が長期化することで、地域の支え合いを利用する側、活動する側ともに、「フレイル」（※注）や「孤立化」が進行し、つながりが途絶えてしまう懸念が生じてきています。

そこで、コロナ禍での新たなつながりづくりとして、オンラインを活用した2つの取り組みを地域の皆さまと一緒に進めました。

ひとつは、毎年文化センターホールで開催していたシンポジウムを、YouTube による録画配信で実施しました。基調講演及びコロナ禍での地域の取り組み事例を事前に撮影したもので、市民の皆さまには、ご自身の都合に合わせてご視聴いただいております。

（※講師の基調講演及び地域の取り組み事例は次ページにて掲載）

そして、もう一つは、オンラインによるサロン研修。地域活動を実践している方同士が、ご自宅でパソコンやスマートフォンを通して顔を合わせながら、つながることの意義を再確認する機会となりました。

この二つの取り組みは、オンラインを活用することで、これからのつながりづくりにおける選択肢を広げるものとなりました。初の試みにハプニングの連続でしたが、ご参加いただいた皆さまには、ご協力をいただき本当にありがとうございました。

コロナに負けない 置き換えるという視点

公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団
主任研究員 澤岡 詩野 氏



澤岡氏には、「地域福祉を考える集い」「サロンオンライン研修」の2つの事業を通じて基調講演をしていただくとともに、事例発表者や研修参加者とのやりとりをしていただきました。澤岡氏が一貫して伝えていたことは、コロナ禍において、今まで当たり前であったやり方や方法が成り立たなくなってきたが、こうした時こそ、「やりたいこと」「大事にしたいこと」「目的」をあらためて考え、そこから「今できること」を探ることが重要であるということでした。そして、その時に「置き換える」という視点を持つことで、これまで紡いできたつながりを維持し、これからもつながり続けることができるということです。

「集えない、出かけられないなら代わりに〇をしてみよう」という発想です。

「できること」は最後まで必ずあります。それを見つけ、続けることをお手伝いするのも、豊かな地域に求められる視点といえると結んでいただきました。

特集

コロナ禍の地域活動 「代わりとしてできること、変わらざることを」

事例報告①

上尾市社会福祉協議会 原市団地支部
おすわけ活動

はらだらん畑



高齢化が進むUR団地では集まることができなくなった影響は大きかったそうです。何度となく話し合いをしながら、喫茶や交流会の再開を模索するも、感染リスクを踏まえ断念せざるを得ませんでした。

そのような中、目を向けたのが野外での取り組みでした。団地前の畑を借り、みんなが立ち寄り、自由に使ってもらえる「場所」を提供するアイデアが浮かんだそうです。

土の掘り起こしや、草取りをし、近くを通る住民とのコミュニケーションの場として定着しつつあるとのこと。

沢山の作物を育て、収穫し、住民たちに配布できるようにすることを目標に、新たな住民の「団らん」の場としていきたいと話されていました。



草取りをした畑 & ボランティア募集の看板

事例報告②

小泉支え合いの会
子育てサロン、わくわく輪愛
試行錯誤のオンラインサロン開催

新型コロナウイルスの影響で活動自粛の中、サロンの再開を望む声を多く聞き、「このままでは皆さんの気持ちが離れてしまうのではないか」と感じたそうです。

「感染リスクを回避しつつ、つながりを感じられる取り組みとは」と模索した結果たどり着いたのが「オンラインサロン」でした。画面越しではありますが、限られた時間の中で顔を合わせることで、「会える喜び」や「つながっている喜び」をあらためて感じることができたそうです。

在宅でのオンライン参加により、パパ同士のつながりもできるなどの波及効果もあったそうです。

今後は野外で顔を合わせるなど、今の活動を基盤につなぎ続ける取り組みを進めていきたいと話されていました。



オンラインサロンの様子

（※注）フレイルとは・・・

『加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態』を表す“frailty”の日本語訳として日本老年医学会が提唱した用語

厚生労働省「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン」より

サロンオンライン研修 「コロナ禍でつながり続ける取り組み」

○実施日 令和3年3月18日(木)
○参加対象 市内サロン活動実践団体・通所型サービスB事業実施団体
○参加者数 約30名
(オンライン環境がない方等で会場参加の方含む)
○講師 公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員 澤岡 詩野 氏



ZOOM によるオンライン研修の様子（会場参加の方）

Contribution

コロナ禍、「つながり」その言葉の奥行き

聖学院大学 児童学科 柴崎 裕

柴崎 裕(しばざき ひろし) 聖学院大学 特任教授
東京学芸大学大学院修了。東京都立小学校図画工作専科教諭を30数年勤め、2018年より現職。国立美術館の教育普及に関する委員(2006～2010)。第59回読売教育賞美術教育最優秀賞『「図工大好き子ども美術展」1998～2010年のあゆみ』。第49回教育美術・佐武賞佳作賞『東日本大震災と美術教育 きぼうのてプロジェクトから』。国立美術館全国研修会ファシリテーター(2018～2019年)。東京国立近代美術館『夏休み!こども美術館 ゴードン・マッタ:クラークススペシャル』のプログラム企画・ファシリテーター(2018年)



にしたい。仲間の多様な見方や考え方に会えることは授業の大きな活力となるはずだ。これが普段の対面授業であれば「見るともなく見え、聞くともなく聞こえる…」そのちよっとしたことから自分に何かが届く、それこそが大切な創造や学びの資源だったのだ。こうなつて強く思うのは、大学生も、小さな子どもたちも「教室で共に学ぶこと」にはかけがえのないものがあるということだ。そこにある豊かさが愛おしい。

呼びかけに応える

Aさんは東北の実家から授業に参加していた。彼女は小さなコピー紙のチョウチョウだけでは満足せずに、大きな紙で羽を作り色を塗り、自分の背中につけようと考えた。確かに子どもたちは、工作するチョウチョウがたとえ手のひらサイズだとしても、自分がチョウチョウになることを考える。花を描けば花になり、蜜を吸

ICTでつながる先に

コロナ禍、触れ合いが絶たれ、想いを直に伝えることができない、そんな困難に直面してきた。感染が無症状で始まるように、その困難の全貌はまだ見ることができない。まだまだ光が見えないところ、困難から見えた「つながり」、その使い慣れた言葉の奥行きについて述べたい。昨年春、私が勤める大学も、会うことが叶わないまま新入生のオンライン授業が始まった。保育士や幼稚園・小学校教諭を目指す学生を対



象にした子どもの造形表現を学ぶ科目だ。本来なら美術室で絵の具や粘土を手にも、子どもたちの世界を、実技を通して探検する。多くの学生は大人になることで子どもの時間をほぼ忘れてしまい、子どもたちのいる世界をきちんと理解するのは難しいものだ。そこで造形活動を通して「子ども時代の瑞々しい感覚」を味わい直し、子どもとのコミュニケーションの糸口や、関わり方を探るなどの造形教育の基礎を学ぶ。その全てが突然、オンライン授業となった。その内容を十分に届けることができるか、私は正直、

うチョウチョウになり、花と話す。これが大人の忘れてしまった「子どもの流儀」だ。Aさんは直感的にそのことを表現した。体ごと取り組むAさんの活動は、正に自分の内に蘇った子どもを体現している。さらにAさんは、実際に公園に行き青空の下で踊った。「仲間を増やしたかったので、自分がチョウチョウになってみました。ちよっと恥ずかしかったけど、本当に飛べそうで楽しかったです」：レポートには、できる限りを尽くして応えるAさんの姿があった。コロナ禍、誰もがバラバラに引き裂かれ、一人の世界に閉ざされていく最中、Aさんの明るく元気な取り組みに誰もが引き付けられる。「仲間を増やしたい私は、こんな挑戦をしている…」そんなAさんの応えから何かが届く。それは周りを暖め、それぞれを照らし、みんなを勇気づける「熱」だ。

小さな子たちへ

学びとは呼びかけに応えること、熱を確かめ、つながること。つながりは新たなつながりを生むこと。このように「つながり」の言葉の奥行きには、計り知れない何かが宿り、「呼び」、「応え」続ける他者との関わりがある。学びに終わりはなく、それは生きる上で誰もが

戸惑いを隠せなかった。世界中の大学が教師と学生をつなぐオンライン授業の準備を整えた。「○○さん、聞こえるかい？」恐る恐る学生の名を呼ぶ、まるで頼りない出席確認が、ICTの苦手な私の授業の始まりだった。

見るともなく見え…聞くともなく聞こえる…

最初の課題は、私が小学校教員時代によく取り組んだ4月春の題材「チョウチョウのおさんぽ」である。普通のコピー紙を材料にヒラヒラと飛ぶチョウチョウを作る工作だ。このヒラヒラする紙を見せると、たいいていの子どもたちはチョウチョウを連想する、そこに着目して題材化した低学年の工作である。学生には基本となる道具や材料を示すだけで作り方は伝えない。なぜなら児童学科の学生にとって作り方を考えることは、取り組む子どもの気持ちや様子を考えることと同じだからである。さらに出来上がったチョウチョウで「子どもたちはどんな遊びをするかを想像して、遊ぶ」までがこの課題の内容だ。その画像を交えてレポートするように伝えた。まだどこか実感のないオンラインでの呼びかけに、どんな応えがあるだろう。授業の流れは、提出物から魅力的な取り組みを紹介し、それを見ながら作者の話を聞き、他の学生の感想や活動の実りを確かめ合う。会えない仲間がどのようにして同じ課題に取り組んだのかを見ながら、自分の「実践を振り返る」II「表現し、そして鑑賞する」そんな学びの道筋を明確

必要なやりとりなのだ。

ならば私たちは「熱」の在りかをもう一度、探さなければならぬ。コロナ禍で小さな子どもたちはどうしているのか。と。見るともなく見え、聞くともなく聞こえるものから閉ざされた子どもたち。その言葉にならない声、呼びかける熱を置き去りにしていないか、子どもたちは応えを待っている。

私はまだ、Aさんに会うことができていない。どうしてもAさんと教室で会い、声を交わしたい。その「初めての再会」が、私のコロナ禍の学びの証しだ。そして「小さな子たちの生きる上で必要なやりとり」についてAさんたちと考える始末たい。コロナ以後に、いたるところで「初めての再会」があるだろう。新たなつながりに生きなければならぬ。



夏休みボランティア体験2021メニュー一覧

福祉について学ぼう

1 車いすバスケットボール

対象 社・大・高・中・小
場所 上尾市民体育館
(上尾市向山4-3-10)
内容 車いすに乗り、操作しながらバスケットボールを行う
日程 8/6
午前の部 9:00～12:00 中・小
午後の部 13:00～16:00 社・大・高
定員 各15名



2 ボッチャ

対象 社・大・高・中・小
場所 上尾市総合福祉センター
(上尾市大字平塚724)
内容 カラーのボールを投げたり転がしたりして、目標球にいかに近づけるかを競う
日程 8/5 10:00～14:00
定員 12名



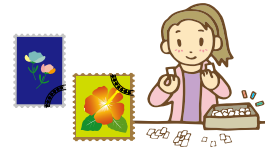
3 点字

対象 社・大・高・中・小
場所 上尾市市民活動支援センター
(上尾市柏座1-1-15プラザ館3階) 上尾駅東口駅前
内容 点字の体験
日程 8/10、8/12
午前の部 10:00～12:00 社・大・高
午後の部 13:30～15:30 中・小
定員 各10名



4 使用済み切手の整理

対象 社・大・高・中・小
場所 上尾市総合福祉センター
(上尾市大字平塚724)
内容 使用済みの切手を整理する
日程 8/10、8/11、8/12
午前の部 10:00～11:00
午後の部 13:30～14:30
定員 各5名
※お一人様1回に限ります



5 自宅でぞうきんを作る

対象 社・大・高・中・小
場所 自宅
内容 施設等で使うぞうきんの作成
※作成用のタオルはボランティアセンターで用意します
作成用タオル配布日 7/26～7/30
提出期限 9/10まで
配布・提出場所 上尾市総合福祉センター
(上尾市大字平塚724)



考えよう！
今、自分たちにできることを……
コロナ禍でもできるボランティアはあるはず……
「こんなときだからこそ、何かしたい」「ボランティアをしてみたいけどきつかけがなかった」という方、夏休みを利用してボランティア体験してみませんか？

福祉施設でのボランティア活動

6 洗濯物たたみ

特別養護老人ホームパストーン浅間台

対象 社・大・高・中・小
場所 パストーン浅間台
(上尾市浅間台2-17-1)
内容 洗濯物たたみと整理
日程 8/16～8/20、8/23～8/24
午前の部 10:00～11:00
午後の部 14:00～15:00
定員 各2名



※ 6・7 は、いずれか1回になります。

7 レクリエーション準備・手伝い

デイサービスセンターパストーン浅間台

対象 社・大・高・中・小
場所 パストーン浅間台
(上尾市浅間台2-17-1)
内容 レクリエーションの準備と手伝い
日程 8/16～8/20、8/23～8/24
午前の部 10:00～11:00
午後の部 14:00～15:00
定員 各2名



8 洗濯物たたみ

介護老人福祉施設しのめ

対象 社・大・高
場所 しのめ
(上尾市平塚2141)
内容 洗濯物たたみと整理
日程 8/16～8/20、8/23～8/24
14:00～15:00
定員 各2名



9 子ども用車いすの清掃

重症心身障がい児支援施設ひこうき雲

対象 社・大・高
場所 ひこうき雲
(上尾市中妻1-2-4) 国大セミナー(学習塾)の裏
内容 子ども用車いすの清掃
日程 8/16～8/20、8/23～8/24
のいずれか 13:30～15:00
定員 各1～2名



応募期間
6月7日(月)～7月2日(金)
必着 ※先着順

対象：小学4年生～社会人・一般の方

社：社会人(一般の方)

大：大学生(専門学校生も含む)

高：高校生

中：中学生

小：小学生



※ 3・6・7・8・9
に参加の方は、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

オンラインでの傾聴ボランティア活動(総合福祉センターと福祉施設をパソコンを使ってつなぎます)

10 オンライン傾聴

有料老人ホーム家族の家ひまわり上尾

対象 中・小
場所 上尾市総合福祉センター
(上尾市大字平塚724)
内容 パソコンを使用し、オンラインで高齢者の方のお話相手をする



日程 8/4、8/18
午前の部 10:30～11:30
午後の部 13:30～14:30
定員 各3名

11 オンライン傾聴

デイサービスあおいそら

対象 中・小
場所 上尾市総合福祉センター
(上尾市大字平塚724)
内容 パソコンを使用し、オンラインで高齢者の方のお話相手をする

日程 8/19
14:00～15:00
定員 2～3名





夏休みボランティア体験2021応募方法

応募資格

●市内在住、在勤、在学の人（小学校4年生～社会人・一般の方）

説明書送付

●事前に内容・ボランティア活動のマナー等について資料を送付します

応募方法

郵送の場合

●下記の申し込み用紙に必要事項を記入し、84円切手を同封の上、下記へお申し込みください。

*申し込み用紙はホームページからもプリントアウトできます。

〒362-0011 上尾市大字平塚724

上尾市社会福祉協議会

ボランティアセンター夏ボラ係

入力フォームの場合

●ホームページの専用入力フォームよりお申し込みください。

★申し込みはこちらから→



※切手はいりません

応募期間

令和3年6月7日（月）～令和3年7月2日（金）必着
（先着順となります。決定通知書は7月中旬に発送（文書・メール）を予定しております。7月2日を過ぎても届かない場合は、お問い合わせください。）

注意事項

●メニュー番号1～11の中から選んで応募してください。

●1人で複数のメニューを体験することができません。

●複数の日程が提示されている場合でも1日から体験ができます。

●1プログラムにつき1枚・1画面でお申し込みください。（用紙が不足する場合はコピーまたは、ホームページよりプリントアウトをしてご使用ください。）

●返信用の84円切手は1人につき1枚を同封してください。

問い合わせ

Tel 048-773-7155

8時30分～17時15分
月～金曜日（祝祭日を除く）

ホームページ

<http://www.ageo-shakyo.or.jp/>



その他

●社会福祉協議会においてボランティア行事用保険に加入いたします。（自己負担はありません）

●新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、中止または日程が変更になる場合があります。



令和2年度 上尾市社会福祉協議会会員募集のご報告とお礼

上尾市社会福祉協議会の会員募集につきまして、自治会長等をはじめ、市民の皆さまや各種団体の皆さまにご協力をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまから集められた会費は、『誰もがつながりあって安心して暮らせるまち上尾』を実現するための地域福祉事業等に使用させていただきます。

合計金額 11,002,225円

・世帯・個人会員	8,318,680円（13,951件）
・個人賛助会員	755,545円（1,008件）
・特別団体・施設会員	1,928,000円（300件）

▶特別団体会員報告（令和2年12月1日～令和3年3月31日現在）（順不同・敬称略）

団 体 名		
上尾南地区	医療法人聖恵会	今村整形外科・外科
大石地区	医療法人英琳会	上尾ふじなみ診療所

ご協力ありがとうございました。



令和2年度 共同募金運動にご協力ありがとうございました

自治会長等をはじめ、各種団体の皆さま、市民の皆さまにご支援、ご協力をいただき、共同募金運動を実施することができました。以下のとおり募金実績額についてご報告させていただきます。（令和3年3月31日現在）

募金実績額 25,124,032円

▶赤い羽根共同募金

募金種別	金 額
戸別募金	13,426,192円
法人募金・個人大口募金	811,638円
街頭募金	132,636円
学校募金	384,289円
職域募金	1,009,487円
合 計	15,764,242円

▶歳末たすけあい募金

募金種別	金 額
戸別募金	8,920,741円
法人募金	250,000円
街頭募金	189,049円
合 計	9,359,790円

共同募金は、支える人を応援します。

共同募金会は「つながりをたやさない社会づくり」を全国共通の助成テーマとしています。新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に困難を抱える子どもやその家族、経済的に困っている人、災害被災者を支援する事業を行っている団体へ資金面の支援としても募金が活用されます。

赤い羽根 さいたま

検索



今後ともご理解・ご協力を
よろしくお願いいたします。



善意銀行にご協力いただきありがとうございました。

お預かりいたしました寄付は、有効に活用させていただきます。

◆令和3年1月1日～令和3年4月30日受付分（敬称略・順不同）

▶善意銀行（寄付金）

寄付者	寄付金（円）	寄付先
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 MS&ADゆにぞんスマイルクラブ	100,000	上尾市社会福祉協議会
株式会社ベルク 上尾東店	32,257	上尾市社会福祉協議会
株式会社ベルク 上尾春日店	14,230	上尾市社会福祉協議会
上尾商工会議所 女性会	10,000	上尾市社会福祉協議会
保坂 俊英	14,873	上尾市社会福祉協議会
箕の木区自治会	10,000	上尾市社会福祉協議会上平支部
松澤 春雄	50,000	上尾市社会福祉協議会大谷支部
原市6区 ひいらぎ会	30,000	上尾市社会福祉協議会原市支部
上尾市立南中学校	30,000	上尾市医師会
上尾市観光協会	21,495	上尾市医師会
株式会社スパンコア	45,000	こども食堂「とまと」
株式会社スパンコア	35,000	子ども食堂でんでん虫
松澤 春雄	50,000	若竹ホーム
全まるたけ労働組合	111,538	若竹ホーム
パーパー星	3,000	上尾あゆみ会大石事業所

▶善意銀行（寄贈品）

寄付者	寄贈品
コンサートホール上尾	お菓子 段ボール8箱
十連寺	お菓子 段ボール2箱（贈答用）
アリーナ平塚	お菓子 段ボール8箱
村岡社労士事務所	長机2台、パイプイス4脚、湯呑み40個
季節料理 太郎	レトルト食品（カレー・ハヤシ）100食
匿名	レトルト食品、インスタントラーメン30食
佐藤 弘隆	ペーパータオル3箱、BOXティッシュ35箱、トイレトーパー90個
大村 忠助	言語くん（失語症訓練用具）
スロットサンエイト	お菓子 段ボール3箱
匿名	毛糸 2袋
明治神宮崇敬会	洗剤詰め合わせ20セット
玉三郎上尾店	マスク2,000枚、カップ麺60食、レトルトカレー10食、お菓子

▶ボランティア基金

寄付者	寄付金（円）
あげお第一診療所	27,378



ご協力ありがとうございました。



夏休みボランティア体験2021参加申込書

活動先	No.	メニュー 施設名	体験 希望日
-----	-----	-------------	-----------

フリガナ		年齢	学年	性別	男・女
氏 名					
住 所	〒	電話番号			
学校名・勤務先	※在学・在勤の確認のため市外にお住まいの方はご記入ください。				
申込をした理由					
1. 以前からボランティア活動に興味があったから 2. 将来福祉関係の仕事に就きたいと考えているから 3. 学校の宿題や課題だから 4. 家族や友人にすすめられたから 5. その他（ ）					

フードドライブ

～ もったいない を ありがとう ～



一般家庭・学校・職場



フードバンク



食事に困っている方

新型コロナウイルスの影響で経済が悪化し、困窮している家庭が増加しています。上尾市社会福祉協議会ではこうした方々を支援するため、フードドライブを開催します。

※フードドライブとは、自宅にある食品を持ち寄り、それらを生活に困っている家庭に無料で提供するフードパントリーなどへお渡しする取り組みです。

※ご寄付いただいた食品は、団体が配布します。

日時 令和3年6月17日(木) 13時30分～16時
18日(金) }
19日(土) } 10時～16時
21日(月) }
22日(火) } ※6月20日(日)は除きます。

会場 上尾市役所 ギャラリー

寄付いただきたい食品：お米・乾麺・スパゲティ・缶詰・レトルト食品・調味料・インスタント食品（味噌汁、スープ）お菓子等保存可能な食品
※賞味期限が2か月以上あるもの。
※上記以外の食品については受け取れません。

問い合わせ

上尾市社会福祉協議会 地域福祉課 ボランティア係
Tel 048-773-7155 8:30～17:15 月～金曜日（祝祭日を除く）
共催：上尾市・上尾市ボランティア連絡会

要保護及び準要保護世帯の児童・生徒遠足費等の援助について

共同募金配分金をもとに、対象となる小学生・中学生に対し援助をしています。申請書に必要事項を記入のうえ、以下のとおり提出してください。

援助行事等 ※他の補助金を差し引いた以下上限金額について支給させていただきます。

- 対象行事 遠足費（宿泊を伴わない事業）
対象世帯 要保護（生活保護を受給している）世帯
援助額 小学生 実費額（ただし上限2,000円）
中学生 実費額（ただし上限4,000円）
- 対象行事 林間（臨海）学校費（宿泊を伴う事業）
対象世帯 準要保護（教育委員会の援助を受けている）世帯
援助額 小・中学生 実費額（ただし上限10,000円）

※申請については当年度の行事1回とさせていただきます。

申請方法

申請書は通学されている小・中学校から対象の世帯の方に行事参加終了後、配布されます。「遠足費等援助費申請書」に必要事項を記入し、上尾市社会福祉協議会まで直接提出いただくか、以下の郵送先へ郵送してください。

提出書類

- 1) 遠足費等援助申請書
- 2) 振込先の通帳1ページ目のコピー（口座名義等確認）

申請書締切日

令和4年3月14日(月) 必着（随時受付）

行事終了後、速やかに申請してください。

申請内容につきましては、学校に行事参加状況等の確認をさせていただきます。その後、社会福祉協議会より保護者様あてへの決定通知の郵送及び、ご指定口座への振込みをさせていただきます。

記入方法等にご不明な点がございましたら、連絡先までお問い合わせください。



問い合わせ
郵送先

〒362-0011 上尾市大字平塚 724 番地
上尾市社会福祉協議会 地域福祉課 総合相談係
（送付する封筒に遠足費等援助申請書在中と記載してください）
Tel 048-773-7155
8:30～17:15 月～金曜日（祝祭日を除く）

登録ホームヘルパー 募集

募集人数 若干名

資格要件 介護職員初任者研修修了以上
（訪問介護職員養成研修（2級課程）修了相当）

勤務場所 上尾市内

勤務時間 ※おおむね自宅から徒歩および自転車で通える範囲
毎週日曜日から土曜日のうち、決められた日および時間
給与等 時給1,350円（身体介護、生活介護同額）1年後昇給あり
ほか、土日祝日、早朝夜間、深夜手当て等あり

申し込み 所定の申込用紙（写真1枚貼付）に必要事項を記入の上、お申し込みください。
※申込用紙は在宅福祉課または上尾市社会福祉協議会ホームページにあります。

問い合わせ

在宅福祉課 訪問介護係 Tel 048-773-7827
8:30～17:15 月～金曜日（祝祭日を除く）

なんでもお任せください!!

お庭の
ちょっとしたことで、
喜んで
伺います!

Oh!庭ya! 上尾店



お見積り 完全無料!!

- 植木・庭木のお手入れ(剪定)
- 庭木・生垣の刈込み
- 防草対策
- 植木・庭木の抜根
- 芝生施工
- 空き地・空き家管理
- 立木の伐採
- 草刈り・芝刈り
- お墓の管理
- 植木・庭木の植栽
- 高圧洗浄
- その他
- 植木・庭木の消毒
- 草取り
- 年間管理
- 植木・庭木の移植
- エクステリア

〒362-0064 埼玉県上尾市大字小敷谷 729
https://www.oh28ya.com/branchf/ageo/

電話でのご予約 0120-28-4141

令和3年度 上尾市社会福祉協議会 会員加入のお願い

社会福祉協議会（社協：しゃきょう）は、地域にお住いの皆さまと「誰もがつながりあって安心して暮らせるまち上尾」を推進する民間団体です。地域福祉活動のより一層の充実を図るため、会員加入にご協力をお願いいたします。

会員とは?

社会福祉協議会の活動に賛同していただくサポーターです。ボランティア活動などへの参加が難しくても、社協会員の会費をもって地域福祉活動への応援につながります。

※加入は強制ではなく任意です。加入の有無で、特典や不利益は生じません。

会員の種類	年会費
世帯・個人会員	1口 500円
個人賛助会員	1口 500円
特別団体会員	1口 5,000円
施設会員	1口 9,000円

皆さまからご協力いただきます会員会費は、上尾市の地域福祉活動を支えるために使われております。詳細はホームページまたは上尾市社会福祉協議会までお問い合わせください。